

名称	説明
発明を実施するための形態ヘッダ	以下、＜発明の名称＞等の実施形態について図面を参照して説明する。なお、実施の形態において同じ符号を付した構成要素は同様の動作を行うので、再度の説明を省略する場合がある。
ブロック図説明	図～は、本実施の形態における＜発明の名称＞のブロック図である。
フローチャート説明	次に、＜発明の名称＞の動作について図～のフローチャートを用いて説明する。
フローなお書き 1	なお、図～のフローチャートにおいて、しても良い。***[オプション]フローチャートにおいて、断っておかねばならないことがある場合に記載します***
フローなお書き 2	なお、図～のフローチャートにおいて、電源オフや処理終了の割り込みにより処理は終了する。***[オプション]フローチャートが無限ループする場合に記載します***
具体例説明	以下、本実施の形態における＜発明の名称＞の具体的な動作について説明する。 ＜発明の名称＞の概念図は図～である。***[オプション]概念図が存在する場合に記載します***
実施の形態の効果	以上、本実施の形態によれば、できる。***[必須]実施の形態の効果を総括的に記載します。複数記載しても良いです。一般的に、ここでは、多くの効果を記載すべきです。***
なお書き 1	なお、本実施の形態によれば、～。***[オプション]権利範囲を広げるために、多くの「なお書き」を記載すべきです。「なお書き」は、実施例で記載した以外の他の態様や実現手段、必須でない項目について説明する箇所です。***
なお書き 2	また、本実施の形態によれば、～。***[オプション]なお書きです。***
なお書き 3	また、本実施の形態によれば、～。***[オプション]なお書きです。***
実施の形態フッタ	さらに、本実施の形態における処理は、ソフトウェアで実現しても良い。そして、このソフトウェアをソフトウェアダウンロード等により配布しても良い。また、このソフトウェアをCD-ROMなどの記録媒体に記録して流布しても良い。なお、このことは、本明細書における他の実施の形態においても該当する。なお、本実施の形態における情報処理装置を実現するソフトウェアは、以下のようなプログラムである。つまり、このプログラムは、～。***[オプション]ソフトウェアで実装される可能性のある場合に記載します。***
発明を実施するための形態フッタ	また、図～は、本明細書で述べたプログラムを実行して、上述した実施の形態の情報端末装置等を実現するコンピュータの外観を示す。上述の実施の形態は、コンピュータハードウェア及びその上で実行されるコンピュータプログラムで実現され得る。図～は、このコンピュータシステム###の概観図であり、図～は、コンピュータシステム###のブロック図である。
発明を実施するための形態フッタ	なお、上記プログラムにおいて、情報を送信する送信ステップや、情報を受信する受信ステップなどでは、ハードウェアによって行われる処理、例えば、送信ステップにおけるモデムやインターフェースカードなどで行われる処理（ハードウェアでしか行われない処理）は含まれない。
発明を実施するための形態フッタ	また、上記プログラムを実行するコンピュータは、単数であってもよく、複数であってもよい。すなわち、集中処理を行ってもよく、あるいは分散処理を行ってもよい。
発明を実施するための形態フッタ	また、上記各実施の形態において、一の装置に存在する2以上の通信手段（端末情報送信部、端末情報受信部など）は、物理的に一の媒体で実現されても良いことは言うまでもない。
発明を実施するための形態フッタ	また、上記各実施の形態において、各処理（各機能）は、単一の装置（システム）によって集中処理されることによって実現されてもよく、あるいは、複数の装置によって分散処理されることによって実現されてもよい。
発明を実施するための形態フッタ	本発明は、以上の実施の形態に限定されることなく、種々の変更が可能であり、それらも本発明の範囲内に包含されるものであることは言うまでもない。***[必須]***
必須図説明	【図##】 同コンピュータシステムの概観図 【図##】 同コンピュータシステムのブロック図